

## 2018 平和運動を展開しました

私たちがめざす「安心して暮らし、働き、労働運動に携わることのできる社会」の実現には、「社会が平和で安定していること」が大前提です。戦争はあらゆる社会基盤を破壊します。そのため連合は平和運動に積極的に取り組み、世論を巻き起こし、地球規模での“絆づくり”を進めることで、平和で安定した社会・暮らしの実現をめざしています。連合は平和運動として主に、次の3つの課題に取り組んでいます。

1. 核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化
2. 在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
3. 北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

### 連合の平和4行動

平和行動 i n 沖縄 6月23日(土) ~25日(月)	太平洋戦争の末期、沖縄に上陸した米軍との激しい地上戦で20数万人の命が奪われました。このような悲劇を二度と繰り返さないため、6月23日の沖縄「慰霊の日」に戦没者の霊を慰め、平和の尊さを心に刻みます。
平和行動 i n 広島 8月5日(日) ~6日(月)	太平洋戦争終結直前の1945年8月6日、米軍によって原子爆弾が広島に投下され14万人の尊い命が奪われました。人類史上初めて原爆が投下された広島の地で、悲劇が二度と繰り返されないよう訴え続けています。
平和行動 i n 長崎 8月8日(水) ~10日(金)	広島につづき1945年8月9日、長崎にも原爆が投下され、7万4,000人が息絶え、7万5,000人余が傷つきました。長崎の地から平和への祈りを込め、二度と核兵器が使われないよう強く訴えていかなければなりません。
平和行動 i n 根室 (北海道胆振東部地震のため中止)	北方四島は日本固有の領土ですが、第二次世界大戦終結時から今日まで、ロシアによる不法占拠が続いています。領土返還と日ロ平和条約の締結なくして真の平和はありません。



▲沖縄での平和行動



▲広島での平和行動



▲長崎での平和行動

## 政策学習会を開催しました

2018年9月26日（火）和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において、政策学習会を開催しました。

冒頭、池田会長の主催者挨拶・長坂隆司和歌山県議会議員（連合和歌山地方議員団会議代表）の来賓挨拶があり、その後、連合本部総合政策局の平川総局長に『社会と生活を支える社会保障制度』について御講演いただきました。

また、長田政策局長から連合和歌山「2019年度政策・制度要求と提言」について、それぞれの要求項目について説明がありました。この「2019年度政策・制度要求と提言」については、10月29日に県へ申し入れを行うこととしています。

この学習会に構成組合員・地方議員団会議から64人が参加しました。



▲学習会の様子

## 青年委員会「時短家事セミナー」を開催しました

2018年10月13日（土）和歌山市「東部コミュニティセンター」において、青年委員会「時短家事セミナー」を開催しました。

この学習会は、ワーク・ライフ・バランスに関する意識を高め、情報を正しく理解し、時短家事を実践することを目的に開催したものです。

講師に山田亮さん（家事ジャーナリスト）を迎え、時短家事セミナーや調理実習を行いました。

この学習会に28人（男14人、女11人、子ども3人）が参加しました。



▲調理の様子

## JR和歌山駅前にて最低賃金改定に伴う街頭啓発活動およびディーセントワーク街宣活動を開催しました

2018年9月27日（木）17:45～JR和歌山駅前にて、2018年10月1日から施行される最低賃金改定（803円に改定）を周知するための街頭啓発活動を実施しました。

この街頭啓発活動に16人が参加しました。

また、2018年10月2日（火）17:45～同じくJR和歌山駅前にて、ディーセントワーク実現に向けたアピール等を行うための「ディーセントワーク街宣活動」を実施しました。

この街頭啓発活動に20名が参加しました。



最低賃金改定に伴う街頭啓発活動の様子



ディーセントワーク街宣活動の様子